

学校経営方針(案)

1 学校教育目標

◎進んでよく考える子ども(知)

個性を大切にし、基礎的・基本的能力を身に付けると共に創造力を養う

◎力を合わせてやりぬく子ども(徳)

がまん強く、最後までやりぬく強い心と豊かな心をもって協力し合う

◎健康で明るい子ども(体)

健康と安全につとめ、明朗快活な精神と、たくましい身体を養う

2 めざす学校

笑顔あふれる、子供たちの「よさ」を伸ばす学校

学校が子供たちの笑顔溢れる場所であることは教育の根幹であり、私たち教職員が目指す理想の姿です。友達と一緒に活動することで笑顔がこぼれる、できなかったことができるようになって自然と笑顔になる、それが自信につながり子供たちの満足感の笑顔があふれる。子供たちの笑顔で、私たち教師はもちろん、保護者や地域も笑顔になる、よいサイクルが生まれる。そのためには、学校が子供たちの「よさ」が認められ発揮できる場所であり、挑戦が許される安心感のある場所でなければなりません。沼ノ端小学校は、素敵な笑顔があふれる学校を目指します。

3 めざす学校実現に向けての「もっと」

- (1)学びの主体を「もっと」子供たちに…好きを育み、得意を伸ばす学習活動
- (2)子供たちに「もっと」寄り添う教育を…「揃わないこと」を前提にした支援
- (3)教師も「もっと」笑顔で…働きがいのある職場

職員室と教室は相似形

もっとよりよく変わる学校へ



4 経営の重点と方策～胆振管内教育推進の重点を基に

(1)資質・能力の向上

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す授業改善
- ② 自立した学習者の礎となる基礎学力の定着・体力向上の取組・体験的活動の充実
- ③ 本校の特色である読書活動の充実

(2)安心して学べる環境の確立

- ① 自己存在感、自己有用感、自己表現力を高める児童の発想を生かした活動の推進
- ② 一人一人の障がいの状態やニーズ等に応じた指導や支援の充実
- ③ すべての教職員の特別支援教育に関する専門性向上とマインドの醸成

(3)生活・学習習慣の確立

- ① 家庭・地域と連携した生活リズムの向上
- ② 自己調整力を高める家庭学習の取組
- ③ 適切な電子メディア利活用の推進と保護者への啓発

(4)地域との連携・協働

- ① 家庭・地域への情報発信の充実
- ② 地域を学ぶ、地域で学ぶ幼保小中連携によるふるさと沼ノ端教育
- ③ コミスク・PTA を基盤とした総ぐるみで子供を育てる気運づくり

(5)教職員の資質・能力の向上

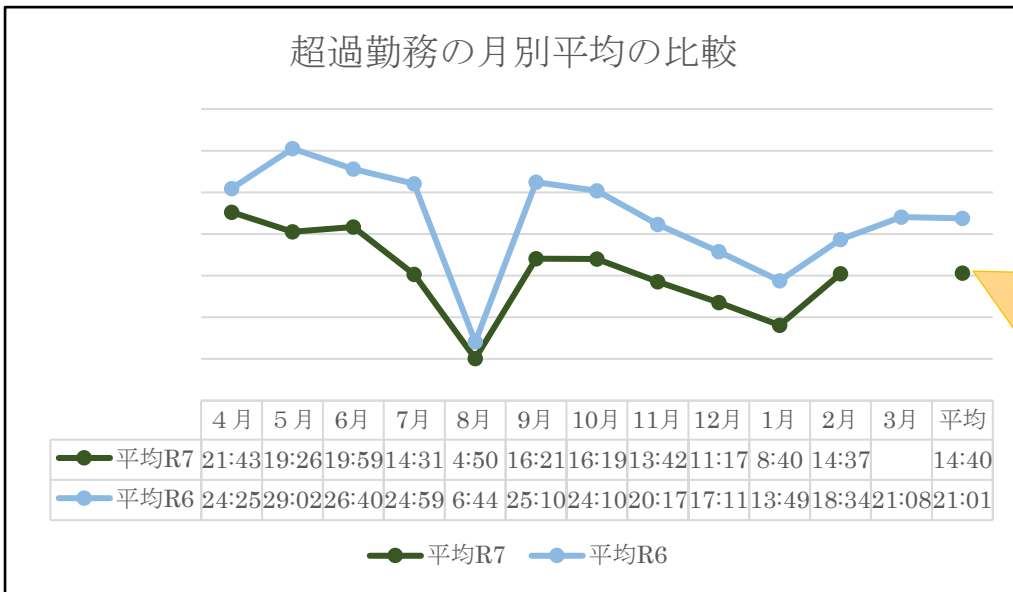
- ① 5年後10年後を見据えた各自のキャリアプランの充実とプロ意識の向上
- ② 高度専門職として学び合い、支えあう温かな教師集団
- ③ 教育公務員としての自覚ある行動と信頼される学校づくり

(6)働き方改革の推進

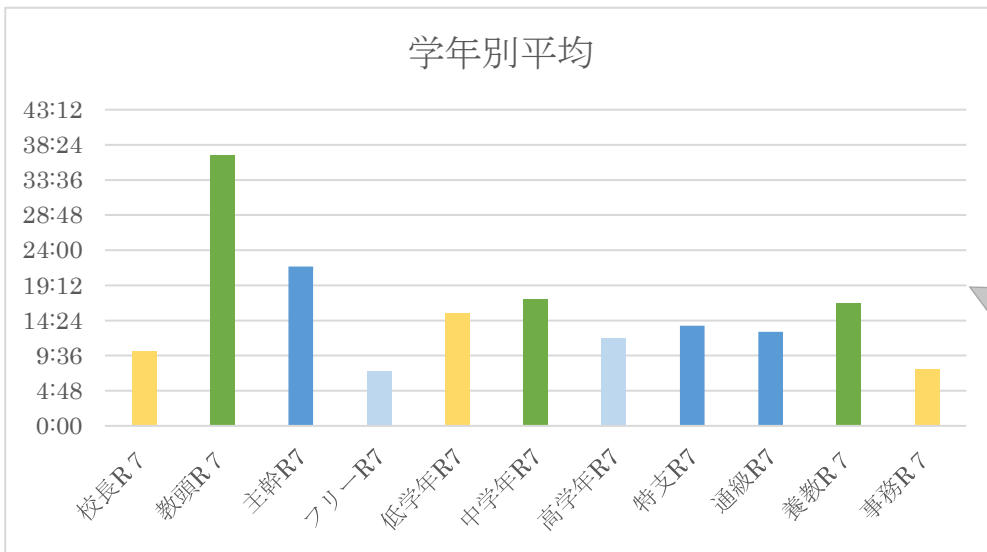
- ① 「子供たちに向き合う時間」を最優先に考えた個々の業務改善
- ② 常に「カイゼン※」の意識をもった分掌業務の推進
- ③ 新たな「3分類」に基づく業務の適正化と家庭・地域への理解促進
※「カイゼン」とは、業務における「ムダ・ムラ・ムリ」を発見し、排除することで仕事の付加価値を高めるボトムアップ式の問題解決のこと

【資料】

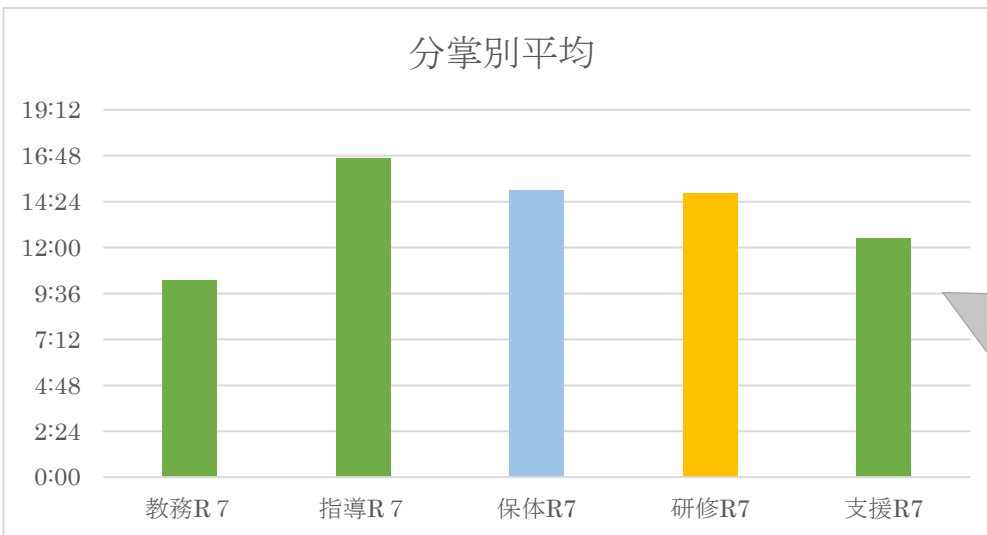
本校の働き方改革の状況について



昨年度より大きく改善されています。すべての月で30時間を下回っています。



教頭が突出しており(次いで主幹)、業務改善が課題と言えます。



次年度、文化部ができるので、どのくらい平準化が進むかにより、業務内容の再振り分けを考えます。